

## 京都大学スーパーレッスン

### 目的

本学博士後期課程の大学院生およびポストドクターが、高等学校における課題探究活動を継続的に支援することを目的とします。

### 内容

本学博士後期課程の大学院生およびポストドクターが、高校生を対象にそれぞれの研究を紹介する出前授業を行います。原則として同月内で4授業まで実施し、週1回、特定の曜日・時限にて、4週連続実施します。幅広い研究分野を知る、あるいは特定の分野を掘り下げる機会としてご活用いただけます。

### 授業実施までの流れ

本学ホームページに掲載している提供授業一覧を参照し、高等学校が希望する日時・授業内容と、本学博士後期課程の大学院生およびポストドクターの予定が合致すれば、授業を実施します。

授業実施に際して、講師料や交通費は、本学が負担します。

### 本年度の実施状況について

高等学校等から8つの応募があり、3校および教育委員会で出前授業を実施しました。

広尾学園高等学校は、高校生自ら企画書を作成しご応募くださいました。また、沖縄県教育委員会進学力グレードアップ推進事業からご応募いただき、オンデマンド授業を実施しました。

### 日本経済新聞朝刊に掲載

本事業の取り組みが、日本経済新聞に掲載されました。

日本経済新聞 2021.11.10朝刊、全国版、31面

「高校生の学ぶ意欲引き出す 島根大、入試前にタネ探し  
京都大は月4回の出前授業」

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCD029AC0S1A101C2000000/>



## サポートメニュー

### 京都大学 スーパーレッスン

## 授業実施校・授業内容

### 広尾学園高等学校（オンデマンド授業、オンライン質疑応答、オンライン発表会）

#### 「女性が活躍しやすい社会の創造」グループ：14名

▶テーマ「女性特有の悩みを解決できる社会」

#### 「自分なりの幸せ観の獲得」グループ：16名

▶テーマ「幸せとはなにか」

#### 「未来の医療の構想」グループ：17名

▶テーマ「未来の医療をどうつづけていくのか」

#### 「自分の未来の創造」グループ：16名

▶テーマ「進路について考えていること、今の悩み」

広尾学園高等学校では、「医療の本質を学び、社会貢献を」という想いのもと、医進・サイエンスコースに在籍する高校生自ら企画書を作成し、スーパーレッスンを受講いただきました。

まず、各グループが掲げるテーマに対応したオンデマンド授業を受講、その後Web会議システム（Zoom）を用いて授業担当者に質問する機会を設けました。最後に研究成果をプレゼンテーションにまとめて発表し、授業担当者が講評しました。



### 各グループ対応授業、担当者

#### 「女性が活躍しやすい社会の創造」グループ

「Women's Health 妊婦と健康」

所属：医学研究科 博士後期課程2回生  
氏名：川邊 莉香

「Women's Health PMS と健康」

所属：医学研究科 博士後期課程2回生  
氏名：川邊 莉香

#### 「自分なりの幸せ観の獲得」グループ

「孤独と健康について」

所属：医学研究科 博士後期課程3回生  
氏名：平山 貴一

「ブータンでの診療について」

所属：医学研究科 博士後期課程3回生  
氏名：平山 貴一

#### 「未来の医療の構想」グループ

「新時代の医療職『遺伝カウンセラー』を目指す  
大学院生と学ぶ『ヒト遺伝と生命倫理』」

所属：医学研究科 博士後期課程1回生  
氏名：春山 瑳依子

「AI社会について考える」

所属：医学研究科 博士後期課程2回生  
氏名：森泉 元

#### 「自分の未来の創造」グループ

「睡眠のしくみ」

所属：医学研究科 博士後期課程2回生  
氏名：森泉 元

「『志望動機』の謎と奥深さ

～入学試験や就職試験に向けて～

所属：医学研究科 博士後期課程4回生  
氏名：木村 峻輔

### ■担当教員からのコメント（理科部長 吉江勝仁先生）

今回、医進・サイエンスコースの生徒たちが医学研究科の大学院生と議論したことで、大学進学や社会貢献へのモチベーションが非常に高まりました。企画立案から最終プレゼンまでの過程を通して、医療に関わる多様な課題を自分事として考え、自身のキャリアを具体的に描ききっかけにもなりました。第一線で活躍している京都大学の大学院生のお人柄、現在進行形の目標や悩み、最先端の研究に触れることができる貴重な機会でした。生徒たちのキラキラした表情やこの期間での成長が非常に印象的でした。次年度も、是非活用したいと思っております。

### ■参加者の声

- 京都大学スーパーレッスンは、様々な面から医療を考えることができる機会であり、終始ワクワクしながら企画に取り組んでいました。私たちが得た学びやワクワクを今度は発信する側に回って広めていきたいです。
- 今回の事業を通して、何かある1つのテーマを自分ごとに落とし込んで、多様な分野のテーマとつなげることの楽しさや、その体系化に気付いたときの面白さを感じることができました。
- 今後、今回出たアイデアを形として世に発信していくために、自分たちが成長するにあたって感じてきた思いと感動を全国の学生に共有して経験してもらうために、アクションを起こしてこそ、この事業の意味を最大化できるはずなので、ここ終わらずもっと突き詰めて、楽しんでいきます。
- 今までは何もできない高校生という感覚が非常に強かったのですが、この企画を通して、自分が未来の社会の一員という意識が強まり、より未来がキラキラしているように見えてきました。
- 大学生や院生の今まで考えてきた思考回路であったり、専門的な知識のみにとどまらない授業をしていただき、将来について考えるうえでとてもよい意見を聞く事ができました。

## 授業実施校・授業内容

東京都立八王子東高等学校 (出前授業、オンデマンド授業)

参加者数:66名

### 授業テーマ、担当者

10月11日(月) 出前授業

「なんで私が哲学者に!？」

所属:人間・環境学研究所 博士後期課程2回生  
氏名:岡田 悠汰

「居心地が悪いことは悪いことか」

所属:人間・環境学研究所 博士後期課程1回生  
氏名:小田 麟太郎 先生

10月25日(月) オンデマンド授業

「睡眠のしくみ」

所属:医学研究科 博士後期課程2回生  
氏名:森泉 元



### 参加者の声

- 大学では本当に専門的な内容を学び、それについて多くの論文を書くことが分かり、自分のやりたいことをしっかり決めて大学を選びたいと思いました。
- 論文に書いてあることを全て鵜呑みにするのではなく、疑問や批評といった、論文に対して一度考える、論文に対する向き合い方を学びたいと思った。
- 理解が難しいのは承知の上で、自分が興味のある学問の論文を実際に読んでみたいと思った。
- 私は人間学に興味があって、それを学ぶことができる大学を受験しようと思っているので、今回の授業はそれと被るところがあって、とても面白かった。
- 今日の話聞いて、哲学や思想と国際問題(宗教問題、移民問題など)についてもっと勉強したいと思った。
- 私は今、探究で睡眠時の夢について取り扱っているのですが、それにつながるような話が聞けてよかったです。

早稲田摂陵高等学校 (オンデマンド授業)

参加者数:142名

### 授業テーマ、担当者

11月11日(木) オンデマンド授業

「今!あなたは、災害から身を守れますか？」

所属:情報学研究所 博士後期課程1回生  
氏名:平子 遼

11月25日(木) オンデマンド授業

「統計は嘘をつく」ってほんとう?

所属:経済学研究科 博士後期課程1回生  
氏名:児玉 航

### 参加者の声

- 研究されている内容について興味がわいたので、良い経験になりました。
- 京大生のプレゼンはすごく内容が詰まっていたので聞きがいがありよかったです。
- 専門用語が出てくるたびに簡単な説明をされていて勉強になった。
- 大学も学部も全く決まっていなくて、自分の勉強したいことを勉強できる所にしたいと強く思いました。
- 発想転換の重要性、数値のみで判断してはいけないということが大切だとわかりました。
- 私は人前で説明することはそんなに得意なほうではありませんが、頑張っていこうと思いました。
- このような経験をさせてもらったので、今度は私もたくさんの人々に新しい経験をさせられるように、日々色々なことを考えながら過ごしていきたいです。
- 今回の受講を通して、今まで自分自身が考えていたことが違うということがわかりました。また、命を第一に考える行動をしていくことが最も大切であることがわかりました。
- 自分は数学がとても好きなので、もっと数学ができるようになって、大学選択の時に統計学も視野に入れられたらいいなと思いました。

沖縄県教育委員会進学カテゴリーアップ推進事業 (オンデマンド授業)

参加者数:195名

### 授業テーマ、担当者

11月12日(金) オンデマンド授業

「貧しい国がなぜ貧しいかを考える」

所属:経済学研究科 博士後期課程1回生  
氏名:児玉 航

「フェムト秒化学—1000兆分の1秒で見る化学反応—」

所属:理学研究科 博士後期課程3回生  
氏名:上西 隆太

「AI社会について考える」

所属:医学研究科 博士後期課程2回生  
氏名:森泉 元

「薬学と有機化学—新薬ができるまで」

所属:薬学研究科 博士後期課程2回生  
氏名:加藤 夏己

「『景観』で考える!SDGsな都市・まちづくり」

所属:工学研究科 博士後期課程1回生  
氏名:吉野 和泰

「通信の安全性を『証明』せよ!」

所属:理学研究科 博士後期課程3回生  
氏名:南 規榮



### 参加者の声

- 今日の講義を聞いて、考えを深めるきっかけになりました。
- 自分の進路に色や具体的な形がついたような感じでやりたいことが現実的になってきたような気がして、とても良い経験をしたなと感じました。
- とても有意義な時間を送ることができたと思います。
- 変化する社会の中、アンテナをはりつつ、真摯に取り組めたらいいなと思いました。
- ほとんどのお話で様々な分野の学問を融合させて考えていたので、これからは偏った視点ではなく広い視点から様々な学問の知識を活かしていきたいです。
- 講義を受けて、見方によってメリットもデメリットも生まれるし、本当に効果があるのかっていうのを立ち止まって考えようと思える機会になりました。
- 私たちに社会を生きていく上で、どのようなスキルが求められるのかをもっと詳しく掘り起こして、知識として叩き込みたいです。
- 理解できなかった部分もたくさんあるので、研修が終わってからも調べてみたいと思います。
- 本当にたくさんのことを学べて、自分の考えを拡げられたと思います。

